



青年委員会っていいな！



理事 鈴木 康之

今期より青年委員会委員長、理事を仰せつかりました葛飾区の柴又学園の鈴木康之です。青年委員会は現在、顧問・相談役の先生を加えると100名を超え、委員長は私で6代目。日々、責任の重さを痛感しているところです。

ところでよく「青年委員会って何してるの？」や「遊んでばかりじゃない？」という声を聞きます。耳が痛いところですが、青年委員会は協会の中で専門部会とは違い特別委員会として設置されておりますので、事業を行う上で、良い意味である種の独立性（自由さ）をもつことができます。主な事業について大まかに申しますと、協会への各事業への積極的な参加・協力、定例勉強会、管外視察、ワーキンググループ活動などです。その事業の中で青年の特性を発揮し、自己を研鑽することを目的としています。

ワーキンググループは委員が3つのグループに分かれ、研修担当が2グループ、レクリエーション担当が1グループとなり、各グループで企画を立て実施していきます。企画を立てている段階で「今、自分たちが何を知りたいか・聞きたいか、何をやりたいか」を真剣に考えるわけですが、同じ青年委員会でも保育従事経験の長い人もいれば短い人もおり、その中で、より今の自分たちに役立つであろう研修やレクリエーションを選択していきます。この委員同士と一緒に考える・話し合うという過程こそが、青年委員会にとってとても大事なことなのではないでしょうか。

保育を取り巻く状況が大きく変わる中で、我々も学び、対応していかなければなりません。知っていて当たり前で物事が進むことも多々あります。園長を始め管理職（又は候補）につく者は、職員に対し、きちんと説明し理解させなければなりません。しかし、私もそうですが「これってどういうことなんだろう」、「今更そんなこと聞けない」などと思うことがあります。そんなときに気負いなく話せるのが仲間たちです。この先10年、20年、30年と続いていく中で、何でも話せる仲間たちを作ることも青年委員会の大きな意義であると思っています。

青年委員会委員は同時に全国私立保育園連盟青年会議、日本保育協会青年部の一員でもありますので、その強みを生かし、これからも積極的に全国組織と関われるようにしていきたいと思っています。私自身がそうであるように、全国各地に仲間を作り、お互いの状況を話しているとより東京のそして自園の置かれている状況も見えてきます。

先般、協会のホームページ内に青年委員会のページもできました。まだ、ご覧になっていない方はぜひ一度お立ち寄りください。今、各園に求められているように我々も情報発信し、活動を理解してもらうよう今後も努力していかなければなりません。決して「遊んでばかりじゃない」青年委員会をもっと知っていただき、同じ「路」を歩む仲間が一人でも増えることを願っています。